

I 学校教育目標

めざす 子どもの 姿	○よく考える子ども ○心の美しい子ども ○元気な強い子ども
めざす 学校の姿	～地域に信頼され、夢ふくらむ楽しい学校～ ○規律があり、活気に満ちた学校 ○心豊かな教育環境の見える学校 ○教職員が生き生きと協働する学校 ○地域のよさを生かし、地域へ発信する開かれた学校
めざす 教職員の 姿	～保護者・地域住民に信頼される教師に～ ○教育に対する強い情熱を持つ教師 ○確かな指導力をもつ教師 ○総合的な人間力をもつ教師

II 小・中学校共通項目の評価

評価共通項目	前期	後期
①基礎学力の定着		
②特別支援教育の充実		
③授業改善の推進		
④基本的な生活習慣の育成		
⑤キャリア教育の充実		
⑥道徳教育の充実		
⑦健康教育の実施		
⑧危機管理計画の実施		
⑨重点目標達成の組織運営		
⑩特色ある学校づくり・小中連携教育の推進		

III 本年度の重点目標に関する評価

本年度の 重点目標	1 自分の根拠を持ち、考えを深める子どもの育成 2 きまりを守り、互いのよさを認め合う子どもの育成				
評価項目	具体的目標	具体的方策	前期評価	後期改善方策	後期評価
1	・自分のめあてに向かって粘り強く考える。	導入を工夫して課題意識を持たせ、学習過程プレートを使って学習を進めている。	2.9	導入を工夫して課題意識を持たせたり、学習の必然性を感じさせたりしている。	3.1
	・自分なりの見通しをもつ。 【重点取組1】	既習学習を振り返らせたり、解決方法を交流したりして、見通しを持たせ学習を進めている。	3.1	既習の知識や技能、生活体験を根拠にして、課題解決の方法や視点、結果の予想を立てさせている。	3.1
	・自分の考えを書く。 【重点取組2】	自分の考えや根拠をノートに書くことができている。	2.8	自力解決の結果や道筋、自分の考えや根拠を記録するノート指導を行っている。	2.9
	・わかりやすく説明する。 【重点取組3】	自分の考えや根拠を説明できている。	2.6	学年の発達段階に応じた話型に沿って、自分の考えとその根拠を説明させている。	2.9
	・まとめを話したり書いたりする。 【重点取組4】	学習の足跡が分かる構造的な板書を工夫している。	3.0	学習過程のプレートを活用し、学習の足跡が分かる構造的な板書を行っている。	2.9
2	・いつでも、どこでも、誰にでも、自分からあいさつする。	生活の月目標にそって、朝の会で意識づけたり帰りの会で振り返りをさせたりしている。	3.1	生活の月目標に沿って、朝の会で意識づけたり帰りの会で振り返りをさせたりする。	3.5
	・静かに、時間いっぱい、隅々まで協力してそうじを行う。	その場に応じた掃除を指導したり、反省会で掃除のしかたをふり返らせたりしている。	3.0	その場に応じた掃除を指導したり、反省会で掃除のしかたをふり返らせたりしている。	3.0
	・友だちがいやな言葉を言わない。	教師が正しい言葉をつかい、子どもに相手のことを考えた言葉の使い方を指導している。	3.0	教師が正しい言葉をつかい、子どもに相手のことを考えた言葉の使い方を指導している。	2.9
	・自分にはよいところがあると答えることができる。	学習や生活の中で子ども一人一人のよさや頑張りを見つけ、学級通信や帰りの会でそのよさや頑張りを伝えている。	2.6	学習や生活の中で子ども一人一人のよさや頑張りを認め、学級通信等でよさや頑張りを伝える回数を増やす。	3.1
【前期】 ・成果 ・課題	<成果>		<課題>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しを持つことができるようになってきた。</li> <li>・学習プレートの活用で、学習の流れが身についてきた。</li> <li>・挨拶をきちんとと言える子どもが増えてきている。</li> <li>・掃除スイッチをきちんといれて掃除を頑張る子どもが増えている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習過程の区切りがはっきりとした授業になっていない。</li> <li>・導入の段階のめあてにつながる展開になっていない。</li> <li>・考えさせる時間の設定が少ない。</li> <li>・相手のことを思いやる言葉遣いができないので、一人一人に視点を当てそのよさや頑張りを認めることながら相手のことを考えた言動ができるようにする。</li> </ul>		
【後期】 成果 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ホワイトボード」を使うことにより、班の考えをまとめさせたり、全体での交流の考えを深めさせたりする上で有効であった。</li> <li>・学習過程についてはかなり気をつけて、授業を組み立てるようにはなっている。</li> <li>・各教科に応じた「見通し」の持たせ方が明確となり、子どもの自力解決に生かすことができた。</li> <li>・図や数直線を使って説明しようと努力する姿が多く見られた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明することに対して、指名させて発表させたり、切り返しの発問がなかったりして、交流が深まらなかった。</li> <li>・みんなで話し合う内容を厳選し、どのような発問をすれば交流が活発になるかの点で工夫する必要がある。</li> <li>・自分の考えや根拠を書いたり説明したりする指導を行ったつもりだったが、子どもの姿としてあらわれていないので方法に改善が必要である。</li> <li>・図や数直線を使って、それを言葉で説明することに関してはなかなかみ出せない子もいる。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帰りの会での「よいところ」見つけは、自尊感情を高めさせる上では、友達からほめられることで有効であった。</li> <li>・友達のよさや自分のよさを表現(スピーチ)できるようになってきた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が言われると嫌がるが、友達に対して嫌な言葉を発することが減らない。</li> <li>・「よいところ」見つけを続けていると慣れが出てきて、また有効な手立てが必要である。</li> <li>・掃除の反省会が流れてやっていると傾向にあるので、反省する視点を明確にするなどの手立てが必要。</li> <li>・学級通信で子どものよさを伝えきれていない。よさを見つける目を持っていないと反省している。</li> </ul>		

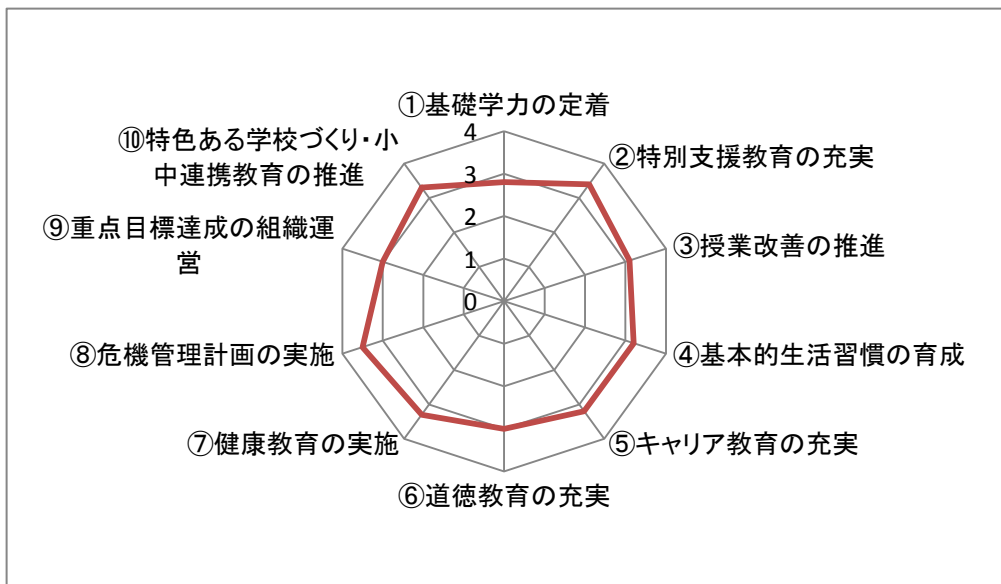
# 学校自己評価作業シート

## 小中学校共通評価項目チェックリスト

評価項目	小項目	前期評価	総合評価	後期評価	総合評価	
1	①基礎学力の定着	学級経営案に記入している市販テスト・学力検査等の数値目標値を達成する。	2.8	2.8	3.6	3.6
2	②特別支援教育の充実	個別の指導計画・教育支援計画を市のモデルに基づいて作成する。	4.0	3.4	4.0	3.4
		個別の指導計画・教育支援計画対象の子ども及び配慮を要する子どもに、実態に応じた丁寧な指導をする。	2.8		2.7	
3	③授業改善の推進	週案に学力向上に関する具体的方策を立て、2週間毎に振り返り次の週の方策を立てている。	3.4	3.1	3.5	3.1
		既習の知識や生活体験をもとに見通しを立てさせ、子どもが意欲的に学習に取り組んでいる。	3.0		2.9	
		ねらいを達成するために、子どもの思考を促す発問をしている。	2.8		2.8	
4	④基本的な生活習慣の育成	そうじの3つのめあてを守るように指導する。	3.1	3.2	3.0	3.1
		自分から誰にでも元気なあいさつができるように朝の会や帰りの会で指導する。	3.0		3.2	
		友だちにいやな言葉を言わないように言葉遣いの指導をする。	3.3		3.1	
5	⑤キャリア教育の充実	係活動や委員会活動を責任を持ってやり遂げるように指導する。	3.1	3.2	3.1	3.3
		学習や学校行事等を通して協力して、課題解決に取り組むように指導する。	3.2		3.4	
6	⑥道徳教育の充実	いろいろな表現方法(吹き出し、表情図など)を使って考えを深めさせる。	2.6	3	2.6	3.3
		年間指導計画や別業を基に、計画を立て指導している。	3.3		4.0	
7	⑦健康教育の実施	歯の健康や病気予防(手洗い・うがいなど)に関する指導を行う。	3.3	3.3	3.1	3.2
		計画的なスポーツタイムを実施し、運動に親しむようにしている。	3.3		3.2	
8	⑧危機管理計画の実施	危機管理マニュアルを活用したり見直したりして、職員に周知を図る。	3.4	3.5	3.1	3.3
		防災防犯訓練等を実施したり、自然災害等への臨時的対応をしたりしている。	3.5		3.4	
9	⑨重点目標達成の組織運営	校長のリーダーシップに基づき目標達成にむけた職務を主体的に行う。	3.0	3	3.4	3.3
		PDCAのサイクルを学校改善に生かす。	2.9		3.1	
10	⑩特色ある学校づくり・小中連携教育の推進	学級力向上プロジェクトに取り組んだり、学級目標を設定したりして自律的な学級づくりをしている。	3.3	3.3	3.4	3.3
		朝の基盤学習や月曜日の放課後の学カタイムに組織的に取り組み基礎・基本の定着を図る。	3.6		3.4	
		学習規律育成計画、家庭学習の手引きをもとに学習習慣を身につける。	3.1		3.1	

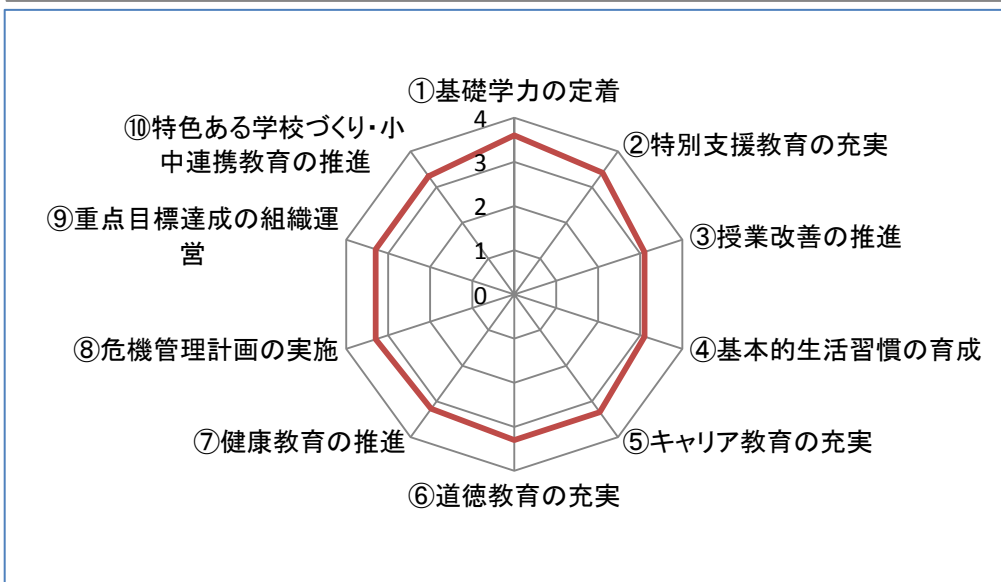
### 【前期の総合評価】

①基礎学力の定着	2.8
②特別支援教育の充実	3.4
③授業改善の推進	3.1
④基本的な生活習慣の育成	3.2
⑤キャリア教育の充実	3.2
⑥道徳教育の充実	3.0
⑦健康教育の実施	3.3
⑧危機管理計画の実施	3.5
⑨重点目標達成の組織運営	3.0
⑩特色ある学校づくり・小中連携教育の推進	3.3



### 【後期の総合評価】

①基礎学力の定着	3.6
②特別支援教育の充実	3.4
③授業改善の推進	3.1
④基本的な生活習慣の育成	3.1
⑤キャリア教育の充実	3.3
⑥道徳教育の充実	3.3
⑦健康教育の推進	3.2
⑧危機管理計画の実施	3.3
⑨重点目標達成の組織運営	3.3
⑩特色ある学校づくり・小中連携教育の推進	3.3



評価基準	
A	4 達成できている(8割以上)
	3 だいたい達成できている(6割以上)
	2 あまり(4割以上)
	1 達成できていない(4割未満)
B	4 評価の資料の平均が3.2以上
	3 評価の資料の平均が2.5~3.2
	2 評価の資料の平均が1.5~2.5
	1 評価の資料の平均が1.5未満

大項目	共通項目(中項目)	小項目(具体的な取組)
【生きる力 学力の充 実】	①基礎学力の定着	学級経営案に記入している市販テスト・学力検査等の数値目標値を達成する。
	②特別支援教育の充実	個別の指導計画・教育支援計画を市のモデルに基づいて作成する。
		個別の指導計画・教育支援計画対象の子ども及び配慮を要する子どもに、実態に応じた丁寧な指導をする。
	③授業改善の推進	週案に学力向上に関する具体的方策を立て、2週間毎に振り返り次の週の方策を立てている。
		既習の知識や生活体験をもとに見通しを立てさせ、子どもが意欲的に学習に取り組んでいる。
		ねらいを達成するために、子どもの思考を促す発問をしている。
【豊かな人 間性の確 立】	④基本的生活習慣の育成	そうじの3つのめあてを守るように指導する。
		自分から誰にでも元気なあいさつができるように朝の会や帰りの会で指導する。
		友だちにいやな言葉を言わないように言葉遣いの指導をする。
	⑤キャリア教育の充実	係活動や委員会活動を責任を持ってやり遂げるように指導する。
		学習や学校行事等を通して協力して、課題解決に取り組むように指導する。
	⑥道徳教育の充実	いろいろな表現方法(吹き出し、表情図など)を使って考えを深めさせる。
		年間指導計画や別葉を基に、計画を立て指導している。
【安全な生 活・健康体 力の増進】	⑦健康教育の実施	歯の健康や病気予防(手洗い・うがいなど)に関する指導を行う。
		計画的なスポーツタイムを実施し、運動に親しむようにしている。
	⑧危機管理計画の実施	危機管理マニュアルを活用したり見直したりして、職員に周知を図る。
		防災防犯訓練等を実施したり、自然災害等への臨時の対応をしたりしている。
【開かれた 学校・教育 活動の展 開】	⑨重点目標達成の組織運営	校長のリーダーシップに基づき目標達成にむけた職務を主体的に行う。
		PDCAのサイクルを学校改善に生かす。
【特色ある 学校づく り・小中連 携】	⑩特色ある学校づくり・小中連携 教育の推進	学級力向上プロジェクトに取り組んだり、学級目標を設定したりして自律的な学級づくりをしている。
		朝の基盤学習や月曜日の放課後の学カタイムに組織的に取り組み基礎・基本の定着を図る。
		学習規律育成計画、家庭学習の手引きをもとに学習習慣を身につける。